

関西歴史文化首都フォーラム in 和歌山

The Road: Spiritual Journey of JAPAN

“道”、そこを歩く人は何を想って歩くのだろうか、旅人の心を運んでいくのが“道”といえないだろうか。

心に希望や夢、願いを持って人が歩いていく、そして、そこに“道”はできていく。

“道”は心、そのものと言えるのではないか。遙か、いにしえの頃、古道は人々の何を担っていたのか、そして歩く人々の心の風景は？

今年が高野山や大峯山なども含めた「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて20年となる。平安時代から鎌倉時代にかけて、数多くの皇族や文人、そして庶民が、それぞれの想いを胸に全国各地から古道を歩いて“熊野詣”を試みた。修行として、非常に険しい道が選ばれたが、時代が下がるにつれ、安全な道が好まれたり、景色の良いところも選ばれるようになったという。道も生き物と言えるかもしれない。

紀伊半島の西側に位置する和歌山県。森や川や海が豊富なこの地域が、如何に信仰の地、霊性の大地と呼ばれるようになったのか。高野山や熊野、を始めとした紀伊山地全体に神社仏閣の集積がなされ、巡礼の旅が何度も何度も行われてきたのは何故なのか。

また、それとともに、体を癒す多くの温泉や、豊富で多岐にわたる日本を代表する食や食材（マグロ、アユ、鰹節、梅、醤油、柑橘類・・・）が十分に紀伊山地には用意されている。旅人の古道歩きへの動機を与え、そして旅人の心に潤いを与えていたはずである。

和歌山の高野山・熊野は建物としての神社仏閣だけではなく、空間全体、山、川、海そのものが、世界遺産である。そして、巡礼の際に迎える“道”そのものが信仰対象ともいえる。

紀伊半島（和歌山）が出来てきた長い歴史に想いを馳せ、巡礼を可能にしてきた“道”に焦点を当てながら、世界遺産となった地域の長い歴史やそれに伴って育まれてきた芳醇な文化を心にとどめて、今後のこの地域の、豊かな未来を想像し、創造していく思索の“道”を今日、ご一緒に歩きましょう。

令和
6年 9月14日(土)
和歌山城ホール 小ホール

“道”
は
日
本
の
こ
こ
ろ

入場
無料

定員 395名 / 先着順



公式ホームページ

日時

2024年(令和6年)9月14日(土)
13:00 ~ 16:00
(受付 12:30~)

会場

和歌山城ホール 小ホール (395席)
〒640-8156 和歌山市七番丁 25番地の1
TEL: 073-432-1212 FAX: 073-432-0227

主催：「関西・歴史文化首都フォーラム」推進委員会／和歌山制作委員会（提唱団体：イベント学会 支援団体：一般財団法人 地球産業文化研究所）

後援：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟／一般財団法人関西観光本部／公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会／文化庁／観光庁／経済産業省
関西広域連合／和歌山県／和歌山市／南海電気鉄道株式会社／テレビ和歌山／和歌山放送



いどうみらいに。
“共創チャレンジ”